

番号	47-1	名称	和泉橋
指定日	平成 19 年 3 月 28 日	所在地	岩本町三丁目 13 番 (神田川)
設計者		竣工	昭和 5 年 (1930)



歴史・文化的特徴

伊勢の津藩藩主「藤堂和泉守（藤堂高虎）」上屋敷が近くにあったことに橋名が由来している。

震災復興橋梁である。

意匠・構造の特徴

簡素だが力強いデザインの鋼製のアーチ橋である。

石造風の親柱が特徴的で、手すりは簡素なデザインである。橋桁の側面の色は青色。美倉橋と同じデザインである。

周辺景観との関係

橋上からは首都高速が頭上を通り圧迫感がある。神田川を見通す眺望点であり、相対する美倉橋などを見渡す事ができる。

大きな橋梁であり、周辺から橋の姿が垣間見えるが、首都高速道路の高架が圧迫感を感じさせる。

水面からは印象的なアーチを見ることができるが、首都高速道路の高架が圧迫感を感じさせる。

国道 4 号線（昭和通り）が神田川をまたぐ橋であり、車両交通が多い。